



ほんきであれ



多古町立多古第一小学校

2024年10月11日第14号(89号)

— たくましく生きる子ども育成 —

前期終了 ～新たな目標をもって～

10月11日（金）、令和6年度前期の終業式を行いました。登校日数は1年生100日、2年生から6年生までは101日でした。その期間の子供たちの頑張りの評価が通知表となります。その通知表が、担任から子供たち一人一人に配られました。そして、担任から子供たちに頑張ったこと（成果）やこれから頑張るとよいこと（課題）のお話やアドバイスがありました。

私は、常々4月に立てた目標を振り返り、その達成を目指して頑張りました。と、集会が行われるたびに声をかけてきました。

保護者の皆様には、子供たちの通知表を見ていただき、子供たちを新たな目標の設定と具体的な努力の仕方について一緒に考えていただき、励ましてください。そして、それぞれ子供に合った目標の設定を確認してください。そして定期的に確認をして励まし、子供たちのやる気を高めていってください。10月17日（木）には、後期の目標をしっかり決めて登校できることを期待しています。よろしくお願いします。

6年生 キャリア教育 「介護の現状と課題」



9月5日（木）、6年生がキャリア教育の一環として「介護」に関する学習をしました。当日は、千葉県の福祉関係の職員の方や関連企業としてリクルートの方、実際に介護施設で働いている方に来ていただき、介護のやりがいや現状の厳しさ、人手不足などについて説明をしていただきました。介護に関して今まであまり関心が高くなかった

子供たちが多かったのですが、この学習を通して、介護の大切さや重要性について学び、興味関心を示す子供たちが多くなりました。

パラアスリート等学校訪問事業



9月30日（月）、パラアスリート等学校訪問（種目：車椅子バスケットボール）がありました。当日は、千葉ホークスの選手4名（内日本代表経験者の選手3名）が来校しました。訪問の前半は自己紹介をしていただき、その後実際の試合のデモンストレーションを見せていただきました。車椅子に乗っているにもかかわらず、その華麗なボールさばきと動きに全校の子供たちは、大きな歓声を上げていました。

後半は、4年生が福祉学習の継続で、パラアスリートの使用する車椅子を使わせてもらい、簡単なリレーをしたり、バスケットの試合をしたりしました。通常の手椅子とは違って、子供たちが操るにはとても難しく、まっすぐ進むことができない子も多くいました。4年生にとっては、このパラアスリートとの交流を通じて、障がいを持っていても努力を継続することで素晴らしい選手になれることを学ぶことができました。

10月の主な行事

日	曜日	内 容	備考
12	土	秋季休業（～16日）	
17	木	後期始業式、特別日課4時限（給食あり）	
21	月	クラブ活動（6校時）	
23	水	3年遠足（千葉市方面）	
25	金	スクールカウンセラー来校、2年校外学習（多古コミ）	
29	火	月例テスト、4年校外学習（浄水場） マラソン練習開始	
30	水	6年修学旅行（～31日：鎌倉・箱根方面）	

